

# 神戸〈ゆうゆうの里〉入居者インタビュー

## 「人生の最後を輝かせてくれるホームに入りたかった」

ひらた みちこ  
平田 道子 様 (75歳)

### 「おひとり様の覚悟」

47年間、仕事に打ち込んできた私は、いわゆる「おひとり様」。

65歳で無事定年退職を迎えてからは、「老後の住まい選び」が私に残された人生の課題となった。

その間母を95歳まで介護をした。母は嚥下状態が悪くなり、やむなく療養型病院（サラモーレ）に4年間入院し、ミキサー食となった。だんだん弱っていく母の姿を見て、自分も同じようになるかもしれないと思うと、とても不安になった。母には私がいたので良かったが、自分は子供がいないので絶対にホームへ入居しなければと強く感じた。

ホーム選びのスタートは、パンフレット集めから始まった。

阪神間の主だったホームは殆ど見学、その中から気に入った所をいくつか絞って、それぞれのホームが開催しているイベントなどに積極的に参加し、体験入居も行った。そんな中、ゆうゆうの里は初めて見学したときから、すごく気に入り、入るならここかなと感じていた。



サラモーレにて親孝行

### 「リーマンショックを乗り越えて」

しかしそんな時リーマンショックで株価が大暴落。欲を出して殆ど全財産を投入していた為、老後への備えどころではなくなり、気持ちもどん底で、生きた心地がしない毎日が5年続いた。その後やっとほんの少しずつ景気が上向きだした。株価が戻れば、その時には入居したいと心に決め、その間20回以上、ゆうゆうの里をより知る為に、見学・セミナー・体験入居を繰り返した。幸いその後株価も戻り、何とか資金を調達できるまでに回復。念願かなって、昨年無事入居に至った。結果的には10年かかったが、自分にとっては、色々な意味で、良い人生勉強になった10年であったと思っている。

### 「長年働いた自分へのご褒美」



フラダンスの発表会にて

ゆうゆうの里は、初めて来たときから、緑が多く、野鳥がさえずり空気がとてもおいしく感じた。又いつ来ても食事が家庭の味付けでおいしかった。入居してからは、里のトレーニングプログラムを上手に使って、健康を維持し、自分の為にたっぷり時間を使えるのが嬉しい。ラジオ体操・リズム体操・棒体操・グラウンドゴルフ・プール・アスレチックジムトレーニング、会員費を支払わなくてもできるのが良い。又農園の横にある広場には、ネットが張ってあって、一人でゴルフの練習もできる。友人とゴルフに行ったり、好きなカルチャー（フラダンス）へも通って、今とても楽しい毎日を過ごしている。

人生の総仕上げを目指して、自分磨きをし、自分が最終輝ける場所いきいきと過ごせるホームを、自分へのご褒美として選びたかった。今は、それが実現したと実感しています。